

教区通信

ふくおか

2018(平成30)年7月1日発行

Vol.125

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

- From tying bonds to great encounters -



▲ 戦後73年戦争犠牲者追悼法要

P2 福岡教区「重点プロジェクト」(実践目標) P2 重点プロジェクト推進のための学習会

- P3 第一回僧研講師養成研修会
- P3 各組 僧研・協議会開催日程表
- P4 戦後73年戦争犠牲者追悼法要
- P5 三門南組・西嘉穂組実践運動の取り組み
- P6 仏教壮年会連盟総会

- P6 本願寺福岡教堂主管・福岡教区
教務所長就退任のご挨拶
- P7 念仏奉仕団参加募集
- P7 法話「迷いの世に還る」
- P8 行事予定

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ
- From tying bonds to great encounters -

スローガン

福岡教区 重点プロジェクト (実践目標)

重点プロジェクト	実践目標	1	ひんこん こくふく む <貧困の克服に向けて ~Dāna for World Peace~> ダーナ フォー ワールド ピース -子どもたちを育むために-
		2	災害支援：あらゆる災害に対する被災者への支援
	期間	2018 (平成30) 年度～2019 (平成31) 年度	
	達成目標	1	貧困問題を学び、学び知ったからこそその取り組みや実践を進める。
		2	これまでの災害支援の点検と継続をし、見えてきた課題に向けて取り組む。
	推進計画	(平成三十) 二〇一八年度	1
2			これまでの災害支援の点検と継続。
(平成三十一) 二〇一九年度		1	学習から学び、取り組みや実践を進めていく。
		2	点検から見えてきた課題への取り組み。

重点プロジェクトのための学習会

実践運動福岡教区委員会 広報部長 副田 正士

六月六日(水)福岡教堂にて「重点プロジェクト推進のための学習会」が宗派より藤丸智雄さん(総合研究所副所長)・宇野哲哉さん(重点プロジェクト推進室部長)・上原大信さん(重点プロジェクト推進室賛事)の三名を迎えて開催されました。

今年度より実践運動推進も三期目を迎え、重点プロジェクトも新たに「(貧困の克服に向けて)Dāna for World Peace」子どもたちを育むために」が策定されました。

まずは、詳細な資料を用意され、新たな取り組みを策定するにいたった経緯と内容が報告されました。

今回の取り組みは、専ら門主が『念仏者の生き方』で示された、世界規模での人類の生存の危機に関わる問題として「経済格差」を指摘されたことに起因しています。現代社会の問題として貧困問題は平和を脅かす原因の一つとしてあげられていますが、日本ではそのことに目を向けずに今までおさなりにされてきたと言っても過言ではありません。

しかし、最近日本でも「子どもの貧困問題」が一つの社会現象としてクローズアップされるようになりました。学校が休みのない日はまともな食事が摂れない子どもを対象に食事を提供する「子ども食堂」もここ数年でかなり増えていきます。そうした中、宗派としてこの重点プロジェクトに取り組む必然性を明らかにす

るため、後半の学びでは「貧困」についてパワーポイントを用いた説明がありました。

最後のまとめでは、日本の貧困問題は地域と関わることでしか見えてこない問題であり、地域との繋がりをもちお寺が現実を可視化し、取り組むことができる重要な存在であると説明されました。

最後の質疑応答では、貧困を生み出した原因は政治であり、そこをあいまいにすることによってこの問題に取り組むことが返って今の政治のあり方を認めることに繋がるのではないかという意見も出されました。また、参加者の中からは、この問題に取り組むことのノウハウが不足している現実であったり、浄土真宗の教義との整合性を質す質問など様々な意見が出されました。

この学習会には関心の高さから多くの方々が参加されていました。まずは貧困問題への理解を深め、宗派が決めたことだから取り組むのではなく、一人ひとりが自分の問題として実践できる活動となるよう学びを深めることの大切さを痛感しました。



第一回 各組選出僧研講師養成研修会

実践運動福岡教区委員会 同朋運動部 田中 了彰

標題にある「僧研」とは「同朋運動推進僧侶研修会」の略称です。これは、「部落差別を始めとする様々な人権・差別の問題、ならびに私たちの周りにおける社会の諸問題を、各僧侶が自己の課題として捉えつつ、それらの解決に向けて具体的な取り組みの実践を推進する」ことを目的とする研修会のことです。教区内全組において毎年開催されています。

また、その僧研に向向して講義を行う人を「僧研講師」といいます。僧研講師には、前記の目的を達成させるという使命と責任とが要求されます。従いまして、教区の同朋運動部が中心となり、僧研講師を養成するための研修会を実施することになりました。この研修会は本年より三力年全九回をかけて行う予定で、その第一回目の研修会が六月七日に開催されました。

研修会の冒頭、菊池慈峰教務所長(当時)がご挨拶され、「各組選出の参加者が計三十八名あることは、教区における人権意識の高さの表れである。また、その三十八名のほとんどが若い方々であるから、宗門および福岡教区の未来は力強いものとなる」と述べられました。

その後、同朋運動部の大野道雄部員が、「僧侶研修会を行わなければならない理由」と題して講義を行いました。大野部員は、長年にわたり同朋運動に携わって来られた方ですので、講義の一言ひと言が、参加者の心に深く重く響きました。最後に質疑応答が設けられましたが、研修会初回ということによる緊張もあつてか、質問者はわずか数名でした。しかし、そこで発せられた質問は、人権・差別の問題や同朋運動のあり方について、その核心をつく内容ばかりでした。まさに教務所長の言葉どおり、宗門および福岡教区の未来に大きな手応えを感じる、第一回目の研修会となりました。



2018 (平成30)年度 同朋運動推進僧侶研修会各組開催日時

組	開催日	会 所
福 岡	2018 (平成30)年 6月23日 (土) 17:00	専立寺
志 摩	2018 (平成30)年 10月30日 (火) 19:00	専光寺
怡 土	2018 (平成30)年 10月18日 (木) 18:30	恩誓寺
早 良	2018 (平成30)年 6月13日 (水) 19:00	正福寺
上 下	2019 (平成31)年 2月18日 (月) 13:30	建立寺
宗 像	2018 (平成30)年 11月12日 (月) 13:00	真光寺
御 笠	2018 (平成30)年 9月12日 (水) 13:30	光蓮寺
夜 須	未 定	未定
嘉 麻	2018 (平成30)年 10月23日 (火) 14:00	西郷寺
東 筑	2018 (平成30)年 9月28日 (金) 14:00	善定寺
遠 賀	2018 (平成30)年 11月12日 (月) 13:30	善照寺
三門南	2018 (平成30)年 10月23日 (火) 14:00	未定
三門北	2018 (平成30)年 9月28日 (金) 14:00	三門北組 専修寺
柳 川		
八 女	2018 (平成30)年 10月10日 (水) 14:00	専勝寺
下川東	未 定	未定
鞍 手	2019 (平成31)年 2月13日 (水) 13:30	円照寺
粕 屋	2019 (平成31)年 2月 6日 (水) 14:00	安楽寺
那 珂	未 定	未定
西嘉穂	2019 (平成31)年 2月 5日 (火) 13:30	明光寺

2018 (平成30)年度 実践運動推進協議会各組開催日時

組	開催日	会 所
福 岡	未 定	未定
志 摩	未 定	未定
怡 土	2019 (平成31)年 2月 7日 (木) 18:30	善覚寺
早 良	2018 (平成30)年 7月 9日 (月) 15:00	明性寺
上 下	2019 (平成31)年 3月 2日 (土) 13:00	建立寺
宗 像	2019 (平成31)年 2月 6日 (水) 13:30	浄万寺
御 笠	2018 (平成30)年 11月29日 (木) 13:30	来光寺
夜 須	2019 (平成31)年 1月31日 (木) 13:30	ピーポート甘木
嘉 麻	未 定	未定
東 筑	2018 (平成30)年 11月17日 (土) 16:30	未定
遠 賀	2019 (平成31)年 2月 9日 (土) 13:30	安養寺
三門南	2018 (平成30)年 12月 4日 (火) 14:00	未定
三門北	2018 (平成30)年 11月18日 (日) 14:00	専修寺
柳 川	2019 (平成31)年 2月25日 (月) 14:00	専念寺
八 女	2018 (平成30)年 11月14日 (水) 14:00	荘嚴寺
下川東	2019 (平成31)年 2月13日 (水) 14:30	明行寺
鞍 手	未 定	未定
粕 屋	2018 (平成30)年 10月11日 (木) 14:00	西光寺
那 珂	2019 (平成31)年 3月 7日 (木) 13:30	福岡教堂
西嘉穂	未 定	未定

戦後73年 戦争犠牲者追悼法要

「非戦平和を願うつどい」 「カーキ色は嫌いです」

時局問題対策委員会 会長 木村 眞昭

戦後73年戦争犠牲者追悼法要―非戦平和を願うつどい―が、六月十九日、福岡教堂礼拝堂にて開催されました。第二次安倍内閣による憲法秩序を破壊する法律が次々に制定されているいま、そのことに私たちはどれだけの危機を感じているのでしょうか。



今年のご講師である矢野寛治さんは、戦後すぐに生まれたいわゆる団塊の世代で、一九七〇年前後に学生時代を過ごした全共闘世代という人生背景もあり、戦前の大日本帝国によるアジア侵略戦争に対する批判を強く持ち続けておられます。ふだんはRKB「今日感テレビ」で洒落なコメントをされるコピーライターでもありますが、アベ内閣のでたらめな政権運営への強烈な違和

感から、この度の講演ではライフワークとされている映画評論をとおして、実際にDVDを上映しながら、戦争体制になりつつある現在の日本のありように警鐘を鳴らしてくださいました。

最初は、①山本薩夫監督「武器なき斗い」に表現されたように、戦争を始める前には権力を批判するものを弾圧する法律が作られるのですが、現在の日本はすでに「特定秘密保護法」「テロ等準備罪

＝共謀罪」によりすでにその法律は出来あがっていることが示されました。

次に映された映像②木下恵介監督「陸軍」は、戦時中に戦意高揚



のために陸軍省が制作したのですが、木下監督は出征兵士を見送る母親(田中絹代)の眼差しを通して結果的に戦争批判を表現していると称賛されました。この映画は福岡市でのロケであったため大空襲前の博多の街並みが映り、参加者からどよめきが起こりました。

そして③関川秀雄監督「きけわだつみの声―日本戦没学生の手記―」では、学徒出陣の兵士が体験した戦争の悲惨さを告発し、二度と戦争をしてはならないことを後世に語り継いだことをしっかりと受け止めようと語られました。

福岡教区の戦争犠牲者追悼法要―平和を願う念仏者のつどい―は、靖国神社とは全く異なる精神で追悼を行ってききました。靖国神社が、「天皇のため」に死んだ「自国の兵士だけ」を「英霊」として

「立派な死だ、後に続け」と褒めたたえるのに対して、仏教の教えを抛りどころにして

「国と民族を超えて」「市民も将



兵も」「国家の誤った政策で殺された犠牲者」であるとして「追悼」してきたのです。

時代は、平和を脅かす現在の政権に対してNO!と言わなければならない状況となっています。これを踏まえて、二〇一五年・戦後七十年法要を機に、過去の戦争犠牲者の追悼よりも未来の平和を願うことに力点を移して様々な企画がなされてきました。

来年以降も、教区内の皆様と共にして、さまざまな企画をしながらこのつどいを続けていきましょう。感想やご意見を教区にお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ひょうがむよう 兵戈無用リボン

福岡教区教務所にて

無償でお譲りしています。

(※数に限りがあります)



三門南組 実践運動の取り組み

三門南組では、実践運動の重点目標を「高齢社会・お聴聞を通してお念仏の輪を広げる」と「災害支援・東日本震災をはじめとする被災者への支援」として活動をしています。

当組は、もともと月命日参りが盛んな地域であり、毎月のお参りのお陰でご門徒の方々との日ごろのご縁を結びやすい環境にあります。ですが、年々お寺の法要や組の行事に参加いただく方が減少しています。高齢社会となった現在では、お寺とのご縁をつなぐ後継者が少なくなり、それはそのままお聴聞いただく方やお念仏に心を寄せていただく方がいなくなることに繋がります。せつかく毎月のお参りがあるのだから、これまでお寺の法座にこ

られたことのない方たちにお声かけし、お寺へ足を運んでもらえるようにと法話



会を開催しています。

「お寺の法話は難しい、仏教の話は堅苦しい」という方もいらつしやるので、なるべく親しみやすいご法話をお願いしますと、毎回、ご講師には無理をお願いしています。

この入門編のような法話会を数年続けたお陰で、毎回百名を超える方に「ご聴聞いただくようになりました。最近では他寺院のご門徒さん同士も顔見知りになって、楽しみに挨拶を交わされる姿も見受けられるようになりました。

また、災害支援としては組行事や各寺院での募金活動を中心として活動しています。二〇一七年度は毎年開催している組主催の戦争犠牲者追悼法要でのご法話を熊本教区教務所長の辰利信さんにお願ひし「熊本地震を通して、念仏者の生き方」というテーマでお話をいただきました。三百名近いの方々のご参拝があり、会場での募金活動にも多くのご協力をいただきました。

どちらの活動もまだまだ未熟な面ばかりですが、お寺が皆さんの心安らぐ居場所の一つになれるような活動をしていきたいです。



西嘉穂組 実践運動の取り組み

二〇一一年、3・11をとおして、「御同朋の社会をめざす運動」としての災害・復興支援」を実践目標に、取り組みを模索しました。「復興とは家屋や道路や防波堤を修復して済む話ではない。人間がそこで起きた悲劇を受け入れ、それを一生涯「わが身」に背負って生きていく覚悟を固めてはじめて進むものなのだ」

（『遺体』石井光太）という問いに導かれながら、東北の被災地を訪ねました。なぎ倒された防風林や電柱、家屋の基礎石のみが延々と残る中に、茶碗のかけらや子どもが遊んだであろうおもちゃが静かにころがっていました。それでも、ダンブカーが慌ただしく往来する様子に「復興」の一面を見ることはできませんでした。しかし、「福島」だけは違っていました。

大石又七さんに「福島原発の事故は今から五十七年前に起こったビキニ二事件の原点に遡って考えなければ正しい答えはでてこない」（『第五福竜丸から「3・11」後へ』）という次の問いをいただき、再度被災地へ。



初日は東京の「第五福竜丸展示館」で、ビキニの水爆実験に遭遇した第五福竜丸

の乗組員、大石又七さんのお話を聞くことができました。

二日目、「ここは地形的に風の通り道になって、放射線量がけっこう高いんですよ」という白河を経由して、不安な気持ちの中で到着した福島では、何度も「安心です」という言葉を耳にしました。現代のエネルギー産業を下支えした、原発被災地の福島に、近代の産炭地「筑豊」が重なり、「復興」の課題への距離感が一気に縮まりました。同時に「ゲンパツ」はエネルギーの問題というよりは、放射能といのちの問題である、ということを感じさせられました。

そこで組において、三専門委員会（「差別専門委員会」「非戦・ヤスクニ専門委員会」「ゲンパツ専門委員会」）を設置しました。それぞれに、研修会やフィールドワーク、写真展や募金活動などを通して、門徒・僧侶が共に学びあい、学習用リーフレットや資料集などの自主作成に展開しました。二〇一八年三月には、鹿児島三専門委員会研修旅行をしました。「ゲンパツ」の課題として、木村朗師より「核の戦後史」についての講演をいただき、川

内原発を見学。「差別」の課題として星塚敬愛園。「ヤスクニ」の課題として「国策」と「犠牲」という問題で通底する課題として共有しています。



仏教壮年会連盟総会・記念講演

福岡教区仏教壮年会連盟 理事長 末松 義成

六月十二日(火)、本願寺福岡教堂にて、本年度の福岡教区仏教壮年会連盟総会・記念講演が開催されました。参加者が昨年度は百二十四名、本年度は百七十六名と大幅に上回る人数でありました。

総会に先立ち、勤行「正信偈・和讃」今年は柳川組仏教壮年会方々の巡讀です。続いて仏教壮年会綱領を志摩組・理事、三坂利榮さんより大きな声で読み上げられました。その後、教務所長より挨拶、理事長挨拶。「仏教壮年会の歌」を全員で唱和しました。

総会が始まり、司会は西嘉穂組・副理事長下川行成さんが担当、議長には、志摩組・徳重省二さんに受けていただきました。

議事では、二十九年九月一日に三年に一度の全国仏教壮年会大会が東北仙台で開催され当教区から六十八名の大人数で参加した事、今年九月二十八日に第五連区仏教壮年会連盟の研修会が福岡教区担当にて開催される事もあり、例年になく活発な審議が行われました。質問・要望事項は、今期執行部・理事会で対応していきたいと考えております。

記念講演では、「念仏者の生き方」を講題として、仏教壮年会連盟講師の石川教区江南組行楽寺・谷間徹誠師よりご講義いただきました。地方によって状況に違いがある事、ある男性(四十八才)がリストラに遭い落ち込んでいた、ふとお寺参りしたくなった事で縁ができた話で、仲間を誘って作法を習い始めた逸話がありました。

本題の念仏者の生き方で、先生から

「念仏者とはだれなのか」と問いかけがされました。念仏者とは念仏を申す人の事ではあるが、阿弥陀如来様の智慧に見抜かれた。この私の自我中心性の深さをお聞かせください。これを省み、未完成なれどもこれを慎みと思う。と述べられました。また、念仏者とはまだ仏縁に遇っていない人も含まれているといただきました。念仏者が生きるとは、我が身一つの肉体と心であり、阿弥陀如来様のご本願を受け取り、自分自身がどう生きるかを決める事、念仏者の自覚次第だと私なりに解釈しました。迫力のある先生の語り口調と笑いの中にも真実がある味わい深いものでありました。

総会後、理事との懇親会では、谷間先生を囲んで和やかに、熱い仏教談義に時間の経つのも忘れるほどでありました。皆様方のおかげで総会も無事終了しましたが、本年度の行事は開始したばかりで、気を締めたいと思っております。最後に壮年会の朋友の輪が広まりますよう頑張る所存でございます。



本願寺福岡教堂主管・福岡教区教務所長就退任のご挨拶

就任のご挨拶

七月一日付、福岡教区教務所長、本願寺福岡教堂主管、本願寺大牟田別院輪番を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご承知の通り、宗門は宗門総合振興計画のもと、第二十五代専如門主伝灯奉告法要を終え、来たる親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要に向け、危機的将来を見据えた諸事業を推進いたしております、こうしたなか当教区において執務することとなりました。まことに身の引き締まる思いであります。

本山・宗務所在任中は、主に財務収納および参拝関係を、地方機関では山陰、新潟教区を経て、前任は同じ九州の宮崎教区の教務所長をさせていただきました。これまでの宗務経験を活かし尽力いたす所存ではありますが、福岡教区は寺院数、門信徒数も多く、大都市を抱え様々な面で九州地区の中心ともいえる教区であります。何分不案内で至らぬことが多々あり、ご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、御同朋の社会の実現をめざしともに歩んでまいりたいと存じますので、よろしくご指導、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

福岡教区教務所長・本願寺福岡教堂主管・本願寺大牟田別院輪番

野村 宗雄

退任のご挨拶

去る六月末日をもちまして、福岡教区教務所長・本願寺福岡教堂主管・本願寺大牟田別院輪番の職を退任いたしました。在任期間中は、教区内外の皆さまのご協力により職務を全うできましたこと誠に有り難く心より御礼を申し上げます。

二〇一五(平成二十七)年四月の着任以来三年三ヶ月の間、多くの出来事が駆け巡りました。中でも、「第二十五代専如門主伝灯奉告法要」が喜ばしいことの一つで、お念仏の教えが確実に引継がれて行く縁に遇わせていただきました。しかし反面、「九州北部豪雨」では、ご門徒の尊い命が失われ、甚大な家屋・耕作地などの被害に見舞われましたことは、悲しく辛い出来事でした。ご遺族・被災者の皆さまにお悔やみとお見舞いを申しあげ、一日も早い復興を願うばかりです。

なお、今後は熊本地震の影響もあつた自坊において、門信徒・坊守・寺族とともに全員聞法・全員伝道の実践に努めていく所存です。第五連区(九州・沖縄)の中心的存在の福岡教区が益々隆盛することを期待し、御礼のご挨拶いたします。

熊本教区宇土北組 常光寺住職

菊池 慈峰

一緒にお参りしましょう!

本願寺福岡教堂 念仏奉仕団参加募集

- ◆日程 2018(平成30)年10月17日(水)～10月19日(金) 2泊3日
- ◆募集人員 14名(定員になり次第締切りさせていただきます)
※参加者の選出につきましては、初めて参加の方を優先させていただく予定です。
- ◆参加費 70,000円(税込)
- ◆申込方法 本願寺福岡教堂へお問い合わせください(電話092-771-9081)
お申込みの方には、申込締切後旅行代金のお支払い等についてご案内いたします。
- ◆申込締切 2018(平成30)年8月31日(金)

1 日 目	10 / 17 (水)	9:10 のぞみ16号 博多駅 → 11:54/12:20 新大阪駅 12:50～14:00 本願寺津村別院 14:20～15:10 通天閣 16:10～16:45 山崎サントリー 17:40 ホテル
2 日 目	10 / 18 (木)	9:00 ホテル 9:15 東本願寺等 見学 12:10 聞法会館・昼食 13:00 念仏奉仕団 宿泊
3 日 目	10 / 19 (金)	6:00 晨朝 9:00～12:00 午前：念仏奉仕団 京都市内・昼食 14:27 のぞみ31号 京都駅 → 17:10 博多駅

一言法話

「安楽浄土にいたるひと、五濁悪世にかへりては、釈迦牟尼仏のごとくに、利益衆生はきはもなし」(浄土和讃)
私たちは「阿弥陀さまのお救いによつて、往生し仏となられた方は、迷いの世へ還り私たちを教化して下さる」というご法義を頂いています。しかしいざ身近な方との別れが訪れた時、お聞かせのとおりにすんなり受け入れるという事は、中々難しいものです。

一昨年祖父を亡くした時の事です。葬儀を終え、火葬場で収骨室に入りました。やはりこの瞬間は何とも言えない感情になります。悲しさ、寂しさ以上に儚さに包まれ、諸行無常を感じずにはおられません。係の方が「ここが足ですよ、腰ですよ」と説明して下さり、それぞれ箸を回して収骨します。最後に骨壺の蓋を締めようとした時でした。当時6歳の長男が、突然大きな声で「命はどこに行ったと？」と、不思議そうな顔をして言いました。おそらく「命」というものが形あるものと思っていたのでしょう。

「迷いの世に還る」

早良組 浄覚寺
鬼倉 龍 英

「だったら、寂しくないね」と。驚きました。面と向かって教えた事はありません。ただ、どこかの法縁で「仏」というのは、いつも一緒に存在である、という事を聞いていたのでしょう。そしてその一言を聞いた時、改めて祖父が私のところに還ってきて下さっていることに気付かせて頂きました。

やはり私の中では、姿が見えなくなった寂しさの中で、遠い存在になったと思っていたのでしょうか。その私に「だったら、寂しくないね」というたった一言を通して、教えてくださったことを思うと、ただ手を合

わさずにはおれませんでした。念仏を申し往生された方は、慈悲の心をおこして、この世に還ってきてくださる。そして、私たちを仏前に誘い、仏法聴聞を勧め、念仏の教えに導いて下さいます。その阿弥陀さまのはたらきについて、ピンとこない私であるからこそ、あの手この手を使って至り届いてくださっているのでしょうか。

福岡教区の予定表

月	日	曜	時	内容
7月	2	月		工事の為、臨時休館
	3	火		第5連区門徒推進員実践運動研修会 (佐賀～4日迄)
	5	木	13:00	実践運動 広報部会
			14:00	仏教婦人会連盟 三者合同会議打ち合わせ
	7	土	13:00	保育連盟 補任式
				第5連区仏教青年連盟連絡協議会 (鹿児島～8日迄)
	9	月	13:00	平成29年7月九州北部豪雨災害一周忌法要 実行委員会
			15:00	子ども・若者ご縁づくり推進委員会
	10	火		第5連区教区会議長会・教務所長協議会 (北豊～11日迄)
	11	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	12	木	13:30	第2回仏教壮年会連盟 理事会
	14	土	11:00	清掃奉仕 (志摩組・西嘉穂組)
			13:30	親鸞聖人讃仰講座 (～15日迄)
	17	火	14:00	実践運動 寺院機能推進部会
18	水	15:00	本派矯正教化連盟 福岡管区支部連絡協議会	
19	木	13:00	平成29年7月九州北部豪雨災害一周忌法要	
23	月	10:00	布教大会 打ち合わせ / 14:00 実践運動 門信徒教化部会	
		15:00	保護司会 役員会	
		15:00	実践運動 非戦・平和部、時局問題対策協議会 合同会議	
25	水	10:30	ビハーラ・ライン 役員会	
		15:00	本派矯正教化連盟 福岡教区支部総会 / 16:00 保護司会 総会	
26	木	14:00	臨時教区会	
		18:30	教務所長歓送迎会 (西鉄グランドホテル)	
27	金	13:00	第4回門徒推進員連絡協議会 役員会	
		14:00	第2回護持口数調整委員会 / 14:00 少年連盟 役員会	
30	月	10:00	仏教婦人会若婦人部 実践運動研修会 / 10:00 布教大会 (粕屋組 妙正寺)	
		12:00	第1回街頭募金 (天神パルコ前)	
		14:00	実践運動 常任委員会	
31	火	10:00	仏教婦人会連盟 実践運動研修会 / 14:00 布教団 役員会	
8月	1	水	14:00	ビハーラ福岡 例会 / 14:00 実践運動 同朋運動部会
			18:30	仏教青年連盟 定例会
	10	金		教務所 夏季休館 (～19日迄)
	20	月		9:00～ 通常業務開始
	22	水	13:30	公聴会 / 14:00 ビハーラ・ライン 例会
	25	土		第5連区保育連盟研修会 (北豊～26日迄)
	26	日		門徒推進員連絡協議会 第1回全員研修会
27	月		子ども・若者ご縁づくり推進委員会 教区連絡協議会	
30	木		布教大会 (粕屋組)	
9月	6	木	19:00	スカウト指導者研修会 (那珂組 浄運寺)
	7	金	13:00	時局問題対策協議会 公開講座
	10	月	12:00	第2回浄土真宗勸学寮真宗講座 (～11日迄)
	12	水	14:00	ビハーラ・ライン 例会
	13	木	15:00	第2回社会福祉推進協議会 役員会
	14	金	11:00	清掃奉仕 (御笠組・夜須組)
			13:30	親鸞聖人讃仰講座 (～15日迄)
	18	火	13:00	第5回門徒推進員連絡協議会 役員会
	26	水	14:00	実践運動 常任委員会
	27	木	15:00	組長会
28	金	未定	第5連区寺院仏壯結成に向けた研修会 (福岡～29日迄)	

臨時職員を紹介



まなこ けい
真名子 佳

(北豊教区 田川下組 西行寺)

5月1日より臨時職員として勤務することになりました。これまでの別院・教務所勤務や寺院活動での経験を活かしつつ、新たに福岡教区の方々にご指導頂きながら努力してまいります。よろしくお願ひ致します。

退職いたしました



まるくま とうこ
丸隈 燈子

(福岡教区 怡土組 妙正寺)

福岡教区教務所で働きはじめ、たくさんの方とご縁に触られたことに、とても嬉しく思います。いつか教務所で見かけたときは、声をかけていただけたら嬉しいです。2年間ありがとうございました。

編集後記

5月16日、歌手の西城秀樹さんが往生されました。ソウルフルな歌声がとても素敵でした。その西城さんの葬儀の折、葬場には代表曲『ヤングマン』が流れていたそうです。「憂鬱など吹き飛ばして 君も元気だせよ」。仏と成られた西城さんからの励ましのメッセージ。そんなことを思いました。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 野村 宗雄

〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081